



渡邊邸・米沢街道 ふたたび

教育長 津野庄一郎

これまでも教育長だよりで渡邊邸などの文化財について取り上げてきました。言わずもがな渡邊邸は貴重な歴史的建造物にとどまらず、村の歴史を今に伝える「地域の記憶」であり、「村の宝」です。かつて交通の要衝であった米沢街道。その歴史の中で育まれた文化や人々の交流は、今日の関川村の礎と言えましょう。

私は文化財を核とした地域おこしを考えるとき、にぎわいの創出や観光振興といった視点の他、「学びの拠点」「村民の誇り」という価値に注目しています。文化財を守ることは、過去を保存することではなく、村の未来を育てることにつながると考えるからです。米沢街道の歴史を軸に、学校教育、生涯学習、観光振興を進め、世代間交流を結び付けた広がりの中に、持続可能な地域おこしの姿があるのではないのでしょうか。

現在、渡邊家保存会はクラウドファンディング（資金調達）に挑戦しています。保存会の経営立て直しの努力に対して、加藤村長の応援メッセージの通り、村も全面的にバックアップしているところです。

教育委員会では、令和8年度、生涯学習の柱の一つに「伝統文化の保存・活用・継承」を掲げ、「渡邊邸を核とした米沢街道の再評価（価値づけ）」のための取り組みを推進いたします。具体的には国重文・渡邊邸を核とし、旧米沢街道の街並み保存を含めた「文化財保存活用地域計画」（文化庁）の策定を進め、文化財の高付加価値化を進めて観光を促し、「保存」と「活用」の好循環につなげたいと考えています。「守る覚悟」と「活かす知恵」。関係各位並びに村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※ 教育長だよりは、関川村ホームページ（新着情報）でもご覧いただけます。なお、4月以降の紙面回覧は、公式ブログ「教育長のまなざし」に移行いたします。